

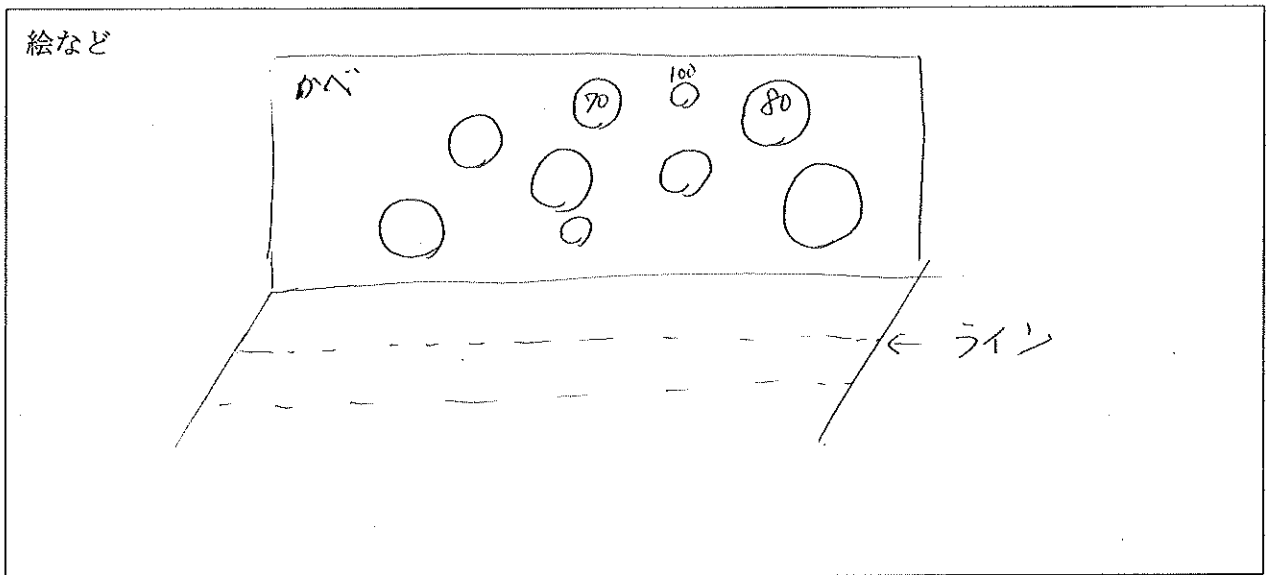
記録者 ( )

1 自己紹介

2 役割分担

- ①進行 ( : )      ②発表 ( : )
- ③用紙記録 ( : )
- ④広用紙記録 ( : )

3 話し合った内容



(1) 進め方 (ルール: 楽しみ方 [得点や勝敗等、何をどうするのか]、教具・人等の配置等)

- かべい子どりの好きなキャラクターの絵をはる。その際、高さや広さを変える。高くても、キャラクターの方が高得点。
- 投げる位置を設定し、より遠いラインから投げた方が高得点。
- 時間い、は、楽しめるように、ボールをたくさん準備する。

(2) 留意点 (用具の素材等)

- 高さや的の広さを調節しコントロール(調整力)を身につけさせる。
- 投げるラインを設定し、自分の力に合わせてゲームが楽しめるようにする。

(3) 準備

- ボール
- かべのみ

記録者 ( 安井 )

1 自己紹介

2 役割分担

①進行

(北波多: 岡本先生)

②発表

(伊岐佐: 今井先生)

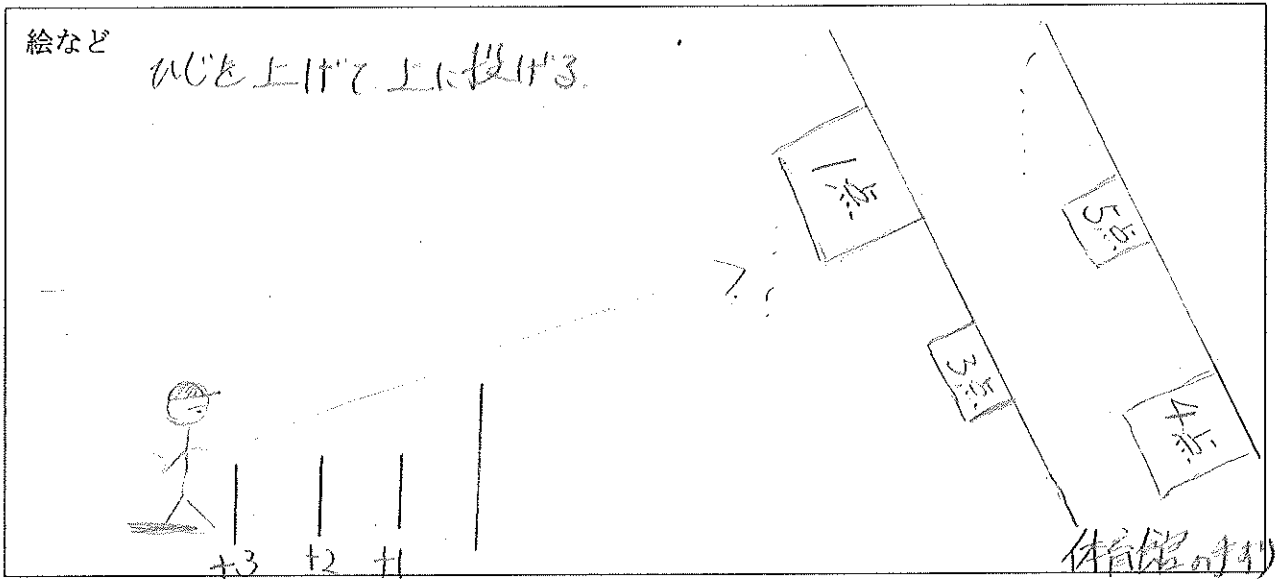
③用紙記録

(馬渡: 安井)

④広用紙記録

(東山: 堀元先生)

3 話し合った内容



(1) 進め方 (ルール: 楽しみ方 [得点や勝敗等、何をどうするのか]、教具・人等の配置等)

- ・ 遠い高ボールをばり 的をつける
- ・ 足元にラインを引くとき ラインをばりから投げる (遠いほど得点アップ)
- ・ 当たらぬ点数が得点
- ・ 同じ回数投げて得点を競う

(2) 留意点 (用具の素材等)

- ・ 目標高に投げる(ひびを上げる)
- ・ 的はタシボール(裏素材)

(3) 準備

- ・ ボール (Tボール、ソフトボール、テニスボール等)
- ・ 得点表

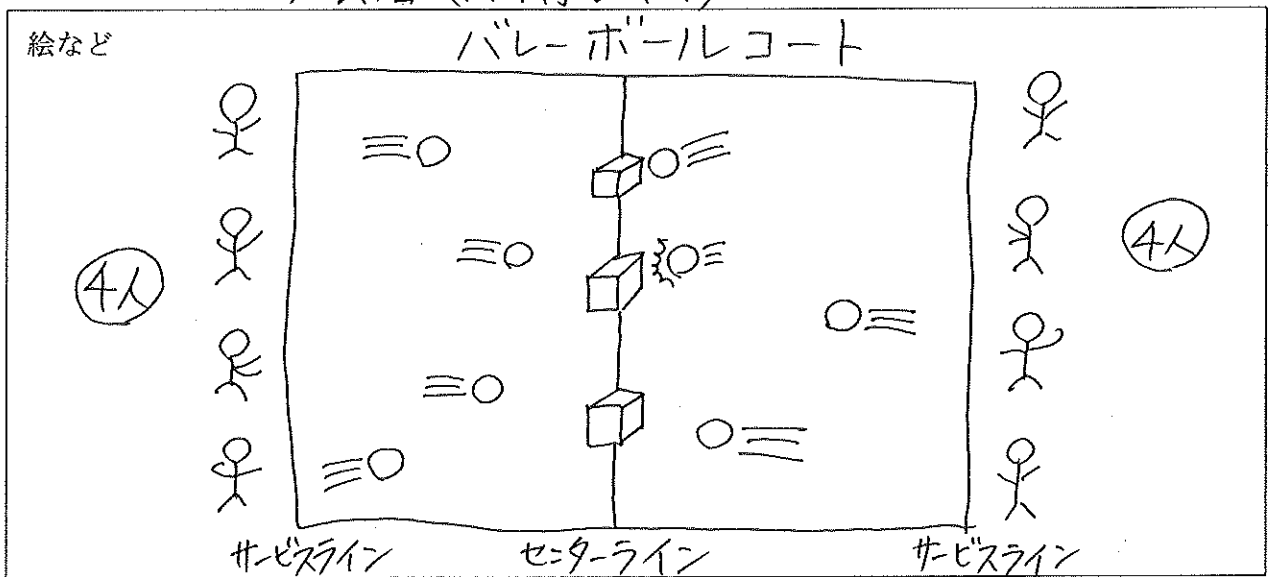
記録者 (高田大二郎)

1 自己紹介

2 役割分担

- ①進行 (湊小: 坂本先生)
- ②発表 (鏡山小: 金尾先生)
- ③用紙記録 (名護屋小: 高田先生)
- ④広用紙記録 (洗崎小: 武田先生)

3 話し合った内容 ゲーム名 (防衛合戦)



(1) 進め方 (ルール: 楽しみ方 [得点や勝敗等、何をどうするのか]、教具・人等の配置等)

1. バレーボールコートを使用する。
2. コートのセーターラインにダンボールを3こ置く。
3. 4人対4人で行う。
4. バレーボールのサービスラインに4人ずつ並んで、ダンボールめがけて投げる。
5. 3分間で、ダンボールをどれだけ相手コートに入れられるかを対戦する。
6. 相手コートに入れたダンボールの数を点数として、勝敗を決する。

(2) 留意点 (用具の素材等)

1. ボールを投げた後は、自陣にあるボールを取って、ラインに戻って投げる。
2. 学年に応じて投げるラインを調整する。
3. 相手が投げたボールに気をつける。
4. ボールはやわらかく、片手で投げられるボールを使用する。

(3) 準備

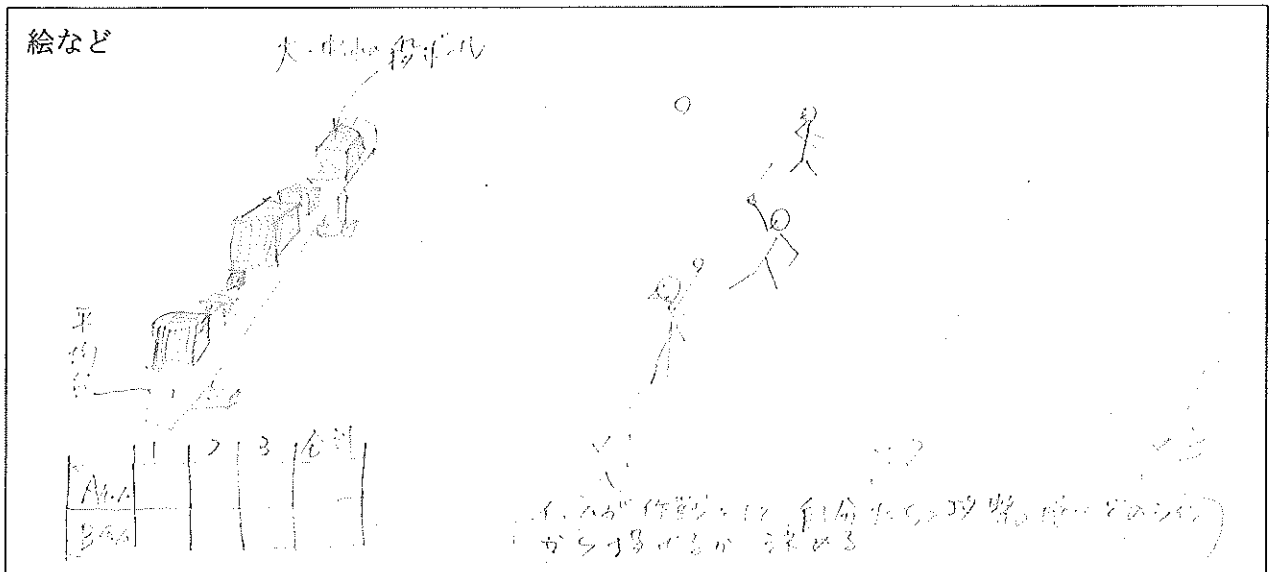
- ・ボール 8こ (ハンドボールぐらいの大きさで、やわらかいもの)
- ・ダンボール 3こ (大きさ、絵は学年に応じて) … 大・中・小、ダンボールに貼る絵
- ・ラインテープ (必要な学年)
- ・ストップウォッチ

1 自己紹介

2 役割分担

- ①進行 ( : ひわたし )      ②発表 ( : 円城寺 )  
 ③用紙記録 ( : 中山 )  
 ④応用紙記録 ( : 中山 )

3 話し合った内容



(1) 進め方 (ルール: 楽しみ方 [得点や勝敗等、何をどうするのか]、教具・人等の配置等)

- ① 平均台の上に大中小のダンボールを置く。
- ② 遠近のポイントをグループ(個人)で決め、玉入れの玉で落とす。
- ③ 時間制限又は玉数制限を設け、点数を競う。

(2) 留意点 (用具の素材等)

- 玉入れの玉は手(右、左)で投げる(両手投げはNG)
- 落したダンボール×ポイントで点数が決まる。

(3) 準備

- 玉入れの玉(ある程度)
- 平均台
- ダンボール(大中小)

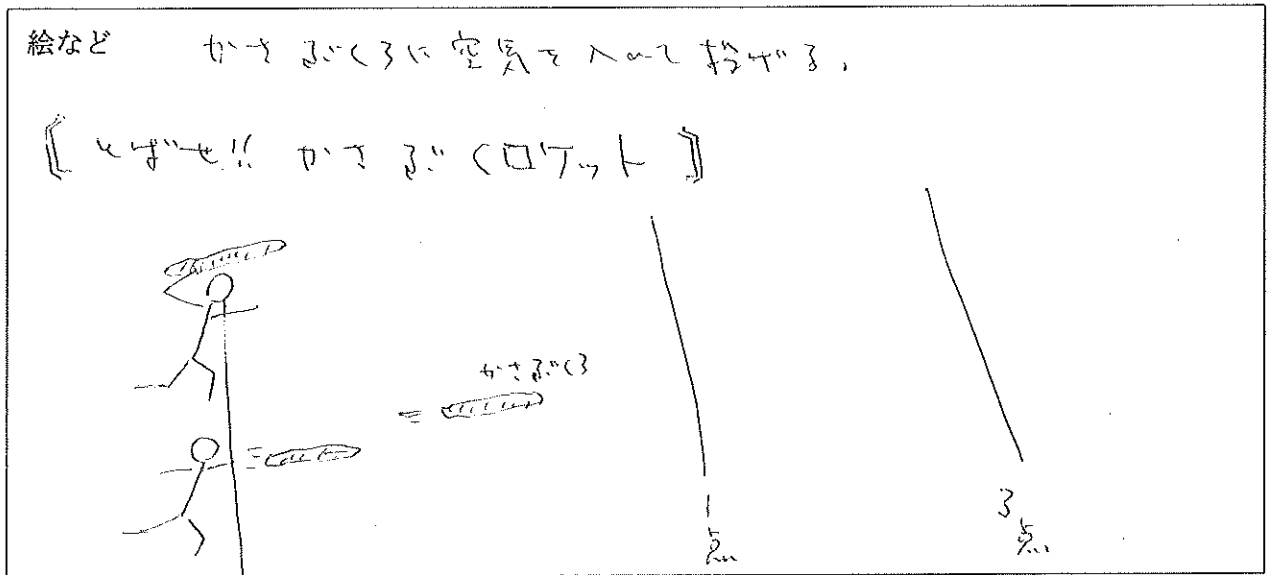
記録者 ( 中島 成和 )

1 自己紹介

2 役割分担

- ①進行 ( 長谷 : )      ②発表 ( 川原 : )
- ③用紙記録 ( 中島 : )
- ④広用紙記録 ( 島崎 : )

3 話し合った内容



(1) 進め方 (ルール: 楽しみ方 [得点や勝敗等、何をどうするのか]、教具・人等の配置等)

- ① かまぶくりに空気を入けてしやる。
- ② 投げる位置 (ライン) を決める。
- ③ 得点ラインを決める。遠くに投げる程高得点。
- ④ 斜め内は遠くに投げる人が勝ち (ライン1)

(2) 留意点 (用具の素材等)

- 何回か投げて合計得点の高い人が勝ち (パートナー)
- 的にカマぶきを置いておけ。

(3) 準備

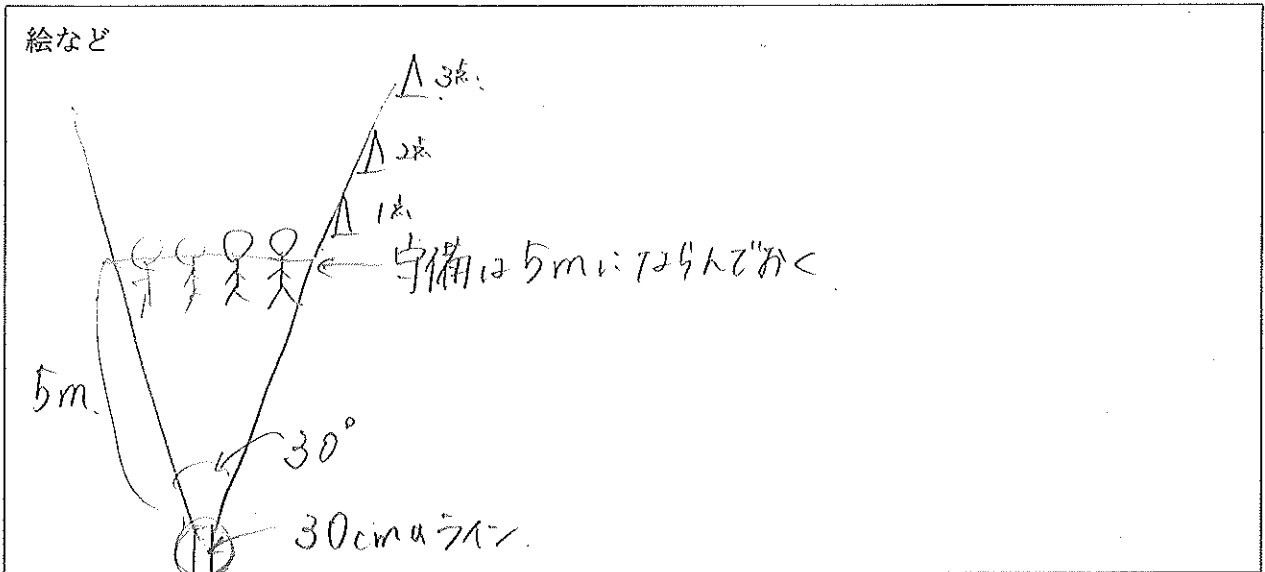
記録者 ( )

1 自己紹介

2 役割分担

- ①進行 ( : )      ②発表 ( : )  
 ③用紙記録 ( : )  
 ④応用紙記録 ( : )

3 話し合った内容 レーダーボール



(1) 進め方 (ルール: 楽しみ方 [得点や勝敗等、何をどうするのか]、教具・人等の配置等)

- ・ 5人 vs 5人 (全員が投げと交代)      ・ 10分 → 作戦タイム → 10分
- ・ フェールはもう1回投げる
- ・ 攻撃は投げて、自分が決めたゾーン(点数)まで走り、戻ってくる
- ・ 守備は投げられたボールのあと3人に全員で行き、手を叩いて「Mリ声」を言うことができる

(2) 留意点 (用具の素材等)

- ・ リオボールより大きい穴の大きさでやわらかいものを使う。
- ・ 5mの位置に守備を立たせることで、線を越えるための意識を促す
- ・ 投げると3人に30cmラインを引いて、投げるフォームを認識させる

(3) 準備

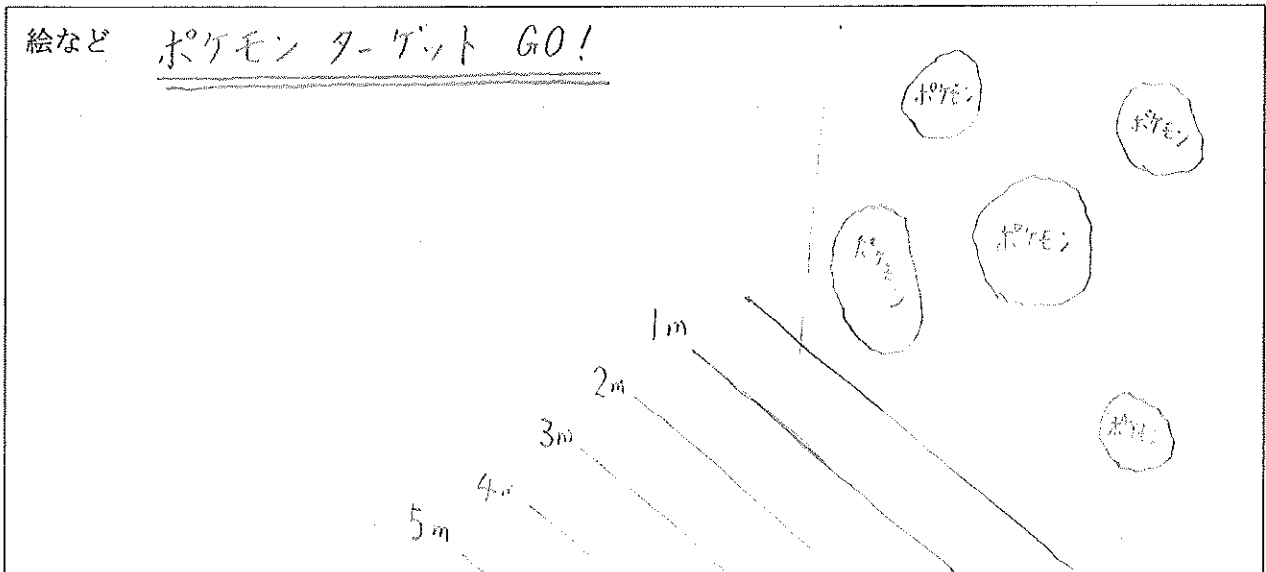
- ・ リオボールとやわらかいもの
- ・ ゾーン
- ・ ライン

1 自己紹介

2 役割分担

- ①進行 ( : 山口 )      ②発表 ( : 佐田 )  
③用紙記録 ( : 松延 )  
④広用紙記録 ( : 坂口 )

3 話し合った内容



- (1) 進め方 (ルール: 楽しみ方 [得点や勝敗等、何をどうするのか]、教具・人等の配置等)
1. グラウンドのネットやフェンスなどに、ポケモンの絵をかいた的を設置する。
  2. 足元にラインを引く。(的から1~5mくらい)
  3. モンスターボール(自分で新聞紙を丸めて作る)5球を投げ、的に当てる。  
的に当てたら、ポケモンゲット。何匹つかまえられるか。
  4. ポケモンにより、点数を決める。

(2) 留意点 (用具の素材等)

投げる時、ボールを捨てる時に注意する。

(3) 準備

的 (ポケモン) タネットで作る。

モンスターボール 新聞紙で各自マボールを作る。

ライン

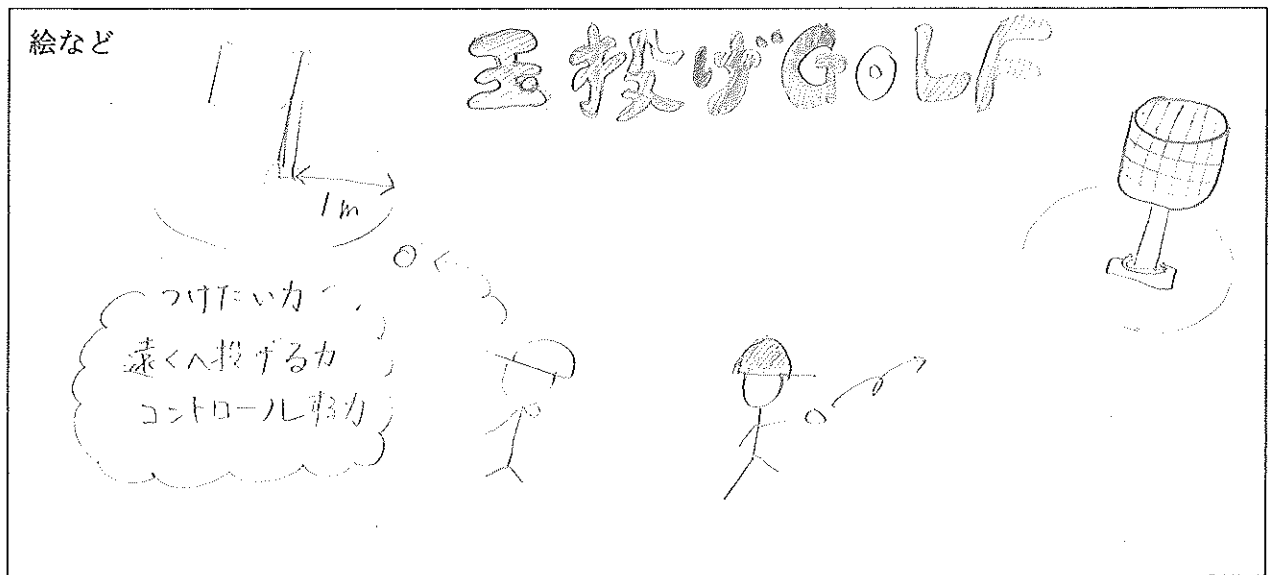
記録者 ( 大園 )

1 自己紹介

2 役割分担

- ①進行 ( : 古館 )      ②発表 ( : 小形 )  
③用紙記録 ( : 大園 )  
④応用紙記録 ( : 大園 )

3 話し合った内容



(1) 進め方 (ルール: 楽しみ方 [得点や勝敗等、何をどうするのか]、教具・人等の配置等)

<ルール>

- ① 1グループ 6〜7人
- ② 何回でゴールするかで勝負
- ③ ゴンボールやカゴなどボーナスゴールがある。(1回)
- ④ 前のグループが終わった時にスタートがなる。

(2) 留意点 (用具の素材等)

- ・ 玉入れの玉を使う (番号をつける)
- ・ ゴールの周りは半径 1m
- ・ 人に当たらない
- ・ ボーナスゴールは自由に設定してよい。

(3) 準備

- ・ 寄賞旗
- ・ 玉入れのカゴやゴンボール (ボーナスゴール用)
- ・ ラインカー
- ・ 玉入れの玉

→ 学校にある物で準備ができるかと。。。